

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲斐市	代表者名	保坂 武		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	055-267-7257		
担当者役職	主任	担当者氏名	三井 研治	連絡先E-mail	
住所	400-0124 山梨県甲斐市篠原2610番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	尾形 誠治
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	連絡を密にとっていただき、資料提供や相談内容の確認など事前準備の段階からわかりやすい指示と丁寧な説明をしていただいた。当日は社会全体の動きや尾形氏が携わった先進事例の紹介をいただき、職員からの質問にもご回答いただき大変参考になったため。
アドバイザーへの要望事項	引き続きの支援を希望する。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月21日	9時50分	12時00分	10	120
3-2. 派遣場所	会場名	甲斐市役所竜王庁舎本館3階大会議室		最寄駅	JR竜王駅
	所在地	山梨県甲斐市篠原2610番地		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市役所職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和3年4月にスマートプロジェクト推進課を設置し、現在はDX化に係る複数のプロジェクトを進めるための体制整備に取り組んでいる。「Work Anywhere Study Anywhereプロジェクト」については、問題意識や目的意識は明確となっているが、分野横断的な検討を要するため、推進主体の組成ができておらず、実現に向けた具体的な計画書の作成の検討まで至っていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	「Work Anywhere Study Anywhereプロジェクト」の推進主体の組成と実現に向けた具体的な計画書の作成	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	本市が目指すスマートオフィス(サテライトオフィス)の姿や事業を継続させるための仕組みなど先進自治体の事例を交え紹介・解説いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	スマートオフィス(サテライトオフィス)についての知識が深まった。また、視察を希望する先進自治地との橋渡し役を尾形氏に担っていただき、現在視察スケジュールの調整を行っている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	具体的な計画書の検討及び作成には至っていない	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 先進事例の紹介と意見交換が主な内容だったためアンケート未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	「Work Anywhere Study Anywhereプロジェクト」の推進主体の組成と実現に向けた具体的な計画書を作成し市長へ報告する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

